

# 北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.18

平成24年 新年号

## 新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 影山 隆雄



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、東日本大地震・大津波が発生、加えて福島原子力発電所の燃料棒溶融に伴う放射能漏れと、わが国がこれまで経験したことのない大災害に見舞われました。さらにタイの洪水、欧州の金融危機、超円高が加わり国内産業は危機的な状況に直面しました。

今回の危機は、多くの産業を取り巻く状況を大きく変えています。原発事故に伴う電力不足により、世界的に自然エネルギーに対する重要性が改めて認識され、節電、省エネルギーへの関心が高まっています。工場の被災により減産を余儀なくされた多くの産業でも、生産体制をグローバルに見直す動きも無視できません。今年は、このような状況のなかで危機を超えて、成長の新たな局面への挑戦の年になると考えます。

NPO法人北九州テクノサポートは、中小企業の皆様のこのような挑戦にお役に立てるように、新規な技術開発に結び付く産学官連携支援や、特徴のあるエコ商品(エコプレミアム認定商品・サービス)の販売促進支援、環境経営や環境技術の構築・導入支援などのあり方を見直してご相談に応じる体制を整えています。

昨年は、会長の交代と新しい理事2名が選任され、新たな事業への取組みが始まりました。北九州地域には長年に亘る諸先輩のご努力により、ものづくりを支える高度な技術や技能が数多く存在しています。これを継承してさらに高度化するため、公益財団法人 北九州活性化協議会が中心となり、地域の産学官から構成される「北九州地域産業人材育成フォーラム」が立ち上がりました。私共もここに参加して支援活動を開始しています。エコアクション21(環境経営システム)の普及や産学官連携、中小企業支援などに関し関連機関のご厚情に深く感謝を申し上げます。今年度は、震災・原発事故からの復興に力を合わせて新たな成長につなげて行きましょう。本年もよろしくお願い申し上げます。

## Topics.1 新規事業の紹介

### 福岡ものづくりアドバイザーとしてKTS会員が活躍

#### ■福岡ものづくりアドバイザー事業

副会長 石川 浩

福岡県では平成16年7月産業界を中心とした大学や関連団体等で構成された「福岡ものづくり産業振興会議」が設置され、この産業振興事業の一つとして基盤技術の分野で長年の現場経験と高度な技能を有し、実技指導能力がある人を「福岡ものづくりアドバイザー」として企業の生産現場へ派遣し、技術・技能課題解決の手助け(支援)を行ってまいりました。

一昨年の「福岡ものづくり産業振興会議企画運営委員会」にて従来の現場技能を主体とした支援から幅を広げ、省エネルギー対策や新技術・新製品開発関連についての支援をも実施すると共に、専門分野の追加・見直しが行われました。

これに伴い、ものづくりアドバイザー募集を北九州テクノサポート会員へ広く行ったところ、10名の応募があり、理事会の承認を得て昨年5月に登録し、7月から具体的な活動に入っております。現在、従来からのアドバイザー3名を加え合計13名の方が各専門分野で鋭意支援活動を行っております。その詳細は下記ホームページをご参照ください。

結果は良好で本誌(5ページ)に福岡ものづくり産業振興会議 八谷事務局長より実績概要報告並びに活用要請が掲載されておりますが、本年度は県内企業10社に延べ40回のアドバイザー派遣を行い、着実に具体的な成果を上げております。専門分野はホームページに記載の通り、ものづくり全般に亘っておりますので中小企業の経営者の方々の積極的なご活用をお願い致します。

→ホームページのURLは八谷事務局長談話(5ページ)に記載の通りです。

### 北九州地域産業人材育成フォーラムに協力

#### ■北九州地域産業人材育成事業

会長 影山 隆雄

北九州市は、平成20年に策定した「北九州市産業雇用戦略」の3つの具体的戦略「ものづくり産業の振興」、「商業・サービス産業の振興」、「人材育成と就業支援の推進」を進めています。ますます激化する国際競争や少子高齢化の進展など、地域の企業を取り巻く環境は厳しさを増しており、産業基盤の維持・強化のため産業人材の育成が最優先課題となっております。加えて地域大学卒業生の地元定着率の低迷や中堅・中小企業における研究開発分野の人材不足などの課題があります。

これらの課題を地域一丸となって解決するため、本誌6ページで公益財団法人北九州活性化協議会の専務理事山崎 辰雄が紹介されている通り産学官連携による「北九州地域産業人材育成フォーラム」が平成23年4月に立ち上がり活動を開始しました。これまでの「福岡県自動車関連産業人材育成事業」(平成19～21年度)や「九州工業大学長期インターンシップ事業」(平成21～22年度)などの人材育成事業における経験を活かして、企業と大学のマッチングを図る支援のため、フォーラムに4人のコーディネーターを派遣しています。初年度の北九州市立大学国際環境工学部と九州工業大学を対象とした「長期インターンシップ事業」では、地域の142社に受入れを打診した結果、45社から受入可能のご回答を頂きまして、59名の学生が参加して実施されました。

さらに、「九州工業大学大学院工学府の社会人プログラム」への企業からのニーズ調査に関しても大学と協力してネットワークを活かして取り組んでいます。

謹賀新年 平成二十四年 正月 理事一同



会長 影山隆雄

事務局長 小林敏郎

副会長 石川 浩、重藤将美、安東 静、藤原利久

理事 小川 勝、藤原成種、堤 増美、石井 剛

山本倅暉、松隈 齊、吉開 悟、白井 堯

監事 後藤禎二、竜口康文



H23年度 理事一同

## 新年の挨拶



平成24年 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治

新年明けましておめでとうございます。

昨年、東日本大震災発生から今年は復興も本格化する中、本市も釜石市など被災地への支援を続けながら、いのちをつなぐネットワーク事業、震災・水害対策、防犯・暴力追放の取組を強化し、「安全・安心」なまちづくりを進めます。

震災の発生や原発事故による電力供給問題、超円高状態の継続などから、地域の経済雇用対策は特に喫緊の課題です。本市は昨年OECDからアジア初の「グリーン成長モデル都市」として選定されましたが、「環境」と「アジア」における本市の強みや先進的な取組を活かして地域経済の活性化を図る「緑の成長戦略」に基づく施策に全力をあげて取り組みます。

環境や超高齢化などに対応し様々な価値を創造する「環境未来都市」の推進、次世代送電網を構築して新エネルギーを地域で安定的に運用する「北九州スマートコミュニティ創造事業」や、既にカンボジアやベトナムなどで実績をあげている「海外水ビジネス」、アジア低炭素化センターによる地域企業のアジアへの環境ビジネス進出への支援、地域における高齢者の見守りや健康づくり、などを進めます。

また、小倉や黒崎などの中心市街地活性化や、産業観光や環境修学旅行の受け入れなど本市の独自性を活かした観光の取組や大型コンベンションの開催、「北九州市漫画ミュージアム(仮称)」のオープンを契機に北九州市の新たな魅力を発信して観光客を誘致し、市内の近代化産業遺産の世界遺産登録を目指した取組を進め、にぎわいの創出につなげていきます。なお、新球技場については、市民の理解を得ながら検討を進めます。

地域経済の活性化を図るとともに、高齢者など地域における支え合いのネットワークの充実・強化、子育て・教育環境の整備、福祉・医療の拡充などの市民サービスの充実や地域コミュニティを強化し、「人にやさしく元気なまちづくり」を市民、各界との協働・連携により進め、市制50周年という大きな節目を迎える平成25年につなげていきます。

## 新春放談 北九州の新年を語る

■株式会社 安川電機 取締役会長 利島康司



【北九州商工会議所 会頭】

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、百年に一度とも千年に一度とも言われる東日本大震災が発生、大津波の被害に加え原子力発電所の損壊・放射線漏れと、日本がかつて経験したことのない大災害に直面しました。その影響は全国に波及し、今なお多くの産業がその打撃に苦しんでいます。

さらに歴史的とも言える“超円高”が追い討ちをかけ、国内産業は危機的状況に陥りました。

しかし、悲観ばかりして北九州まで沈滞してしまてはいけません。このような激動の時期だからこそ、技術力を磨き、今までにない技術で国内の需要を喚起していかなければならないと思っています。日本を元気にするために北九州から風をおこしていきたい。そうすることが、被災された方へのエールになればと思います。

昨年の11月に全国商工会議所観光振興大会が開催され、全国各地から1700人もの関係者がお越しになり、弊社も大勢の方が見学されました。参加いただいた方から、北九州の観光資源として我々の誇る産業群だけでなく、市民のおもてなしの気持ちに大変高い評価をいただいております。ハードのみならずソフトの部分の評価されたことは大変嬉しく思います。全国の人口が減少する中で、産業観光でこの街の流動人口を増やすことができれば、人が集い活気のある元気な街を取り戻すことができるのではないかと思います。

KTS(北九州テクノサポート)も技術分野で人が集うための一役を担っておられます。本年が、時代のうねり乗り越えさらに元気な北九州へと飛躍する年になればと願っております。

最後になりましたが、皆様方のこの一年のご多幸を心より祈念いたします。

■TOTO株式会社 代表取締役 副社長執行役員 伊藤 健二

2012年、新しい年を迎えました。



一昨年の後半から昨年初めはリーマンショック後の低迷もようやく底を打ち、明るい 材料が随分見えていたのですが、3月11日の東日本大震災以降は一変し、未曾有の 危機を体験することになりました。震災により被害を受けられました皆さまには謹んで 哀悼の意を表します。

東日本大震災は歴史に残る惨禍でしたが、8~9月に上陸した台風も例年以上の被害であり、タイの洪水においては自動車・家電産業を中心に全世界に大きな影響をもたらしています。振り返ると、問題が起こったときのあり方をあらためて問われたのが、2011年であったと思います。特にこれからは、“想定外は通用しない”という姿勢で臨むこと、そして“現場力を信じる”ことが大切であると心しました。

日本は先進国と言われている諸外国よりも、環境問題・高齢化問題・エネルギー問題を早くから体験している国です。そして、北九州は日本の中であって、これらの諸問題をより早くかつ深刻に体験したことで、他地域にとっては“想定外”の問題であってもソリューションを提供できる誇るべき地域集団です。そして何よりも、北九州にはそのソリューションを実行できる、“現場力”に支えられた地元の各企業の強い連携があります。当社TOTOもその一員として貢献できるよう尽力してまいります。

2012年という新しい年が、復興に向けた確実な一歩を示す年になることを祈念するとともに、北九州テクノサポート会員の皆様のお力をもって北九州の一層の飛躍の一年になることを心から願っています。

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

## ■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信Vol.18広告1-2



### 経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。

大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

### 大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1  
TEL:093-871-1631(代) FAX:093-883-2151

<http://www.taiko-ref.com>



産業廃棄物処理  
プラスチックリサイクル  
溶剤リサイクル

## 高野興産株式会社

本社北九州市八幡西区御開2丁目5-1 TEL 093-691-2790  
北九州エコタウン工場 北九州市若松区響町1丁目62-19

URL:<http://www.takano-k.com/>



## 新春随想



平成24年 新春随想 財団法人北九州産業学術推進機構 中小企業支援センター長 秋成宏治  
新年おめでとうございます。

皆様には、日頃より「財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)」の事業にご理解・ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、回復傾向を見せていた国内経済も「東日本大震災」により再び立ち止まざるを得ませんでした。この予期しないトラブルに対する「日本の底力」や「日本人のモラルの高さ」を改めて世界に示すことにもなりました。

今年も、急激な円高や国際的な金融危機、エネルギー問題など、地域経済にとって先行き不透明な課題が山積していますが、こうした課題の克服に向けた努力により、必ず、地域の活力が蘇り、新たな飛躍を遂げることができるものと確信しています。

さて、北九州市は、環境モデル都市として、「快適な市民生活」、「新たな産業及び雇用創出」、「低炭素化」を調和させた先導的な社会システムの実現を目指しています。また、新興国の急速な経済発展とともに生まれる大気汚染や水質汚染、産業廃棄物処理など深刻な環境問題に対して、リサイクルや資源エネルギーなどの分野で更なる国際貢献の期待が高まっており、これに応える新たな取り組みも始まりました。

FAISでは、こうした活動を技術開発面から強力にサポートするとともに、高度な人材集積を基盤とした、アジアにおける先導的な低炭素化技術研究拠点を形成し、低炭素化を軸にアジア展開までを見据えた地域産業の振興を図るため、昨年、「先導的低炭素化技術研究戦略指針」を取りまとめました。

本年は、この指針に基づいた事業を着実に進めるとともに、中小企業の様々な経営課題を解決するための支援を強化するため、市内製造業の技術力アップや「ベンチャー」「環境」「自動車」を切り口とした企業支援機関のネットワーク化に向けて取り組むなど、地域産業の発展のため、引き続き、全力で取り組んでまいります。今後とも、ご支援・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 新春放談 北九州の新年を語る

### ■日産自動車九州株式会社 代表取締役社長 児玉 幸信

新年あけましておめでとうございます。



日産自動車九州は、周防灘に面した福岡県苅田町に位置しています。1975年に日産自動車九州工場(九州初の自動車工場)として生産を開始。以来、数々の日産車を世に出してきました。そして2011年、日産自動車九州工場は「日産自動車九州」として新たな一歩をスタートいたしました。

時代とともに多様化するお客さまの要望にも柔軟に対応。最先端の技術を駆使したコストパフォーマンスの高い、確かな品質のクルマを約束通りの短い納期でお客さまにお届けしてまいります。敷地内の専用埠頭からは、ここ日産自動車九州で生まれたクルマを国内のみならず世界中のお客さまにお届けしています。そこには、一人ひとりの創意から生まれる工夫や改善がクルマに活かされ、深い愛情が随所に注ぎこまれています。これからも日産自動車九州の心を込めたモノづくりにぜひご期待ください。

### ■地域に愛される開かれた工場に

日産自動車九州(株)は九州自動車産業のパイオニアとして活動してきた36年の間同様、これからも高度な技術と真心でお客さまに満足頂けるクルマをお届けし続ける工場、地域と共に発展し、地域に愛される開かれた工場となることを目指します。

### ～地域と共に。これまでも、これからも～

是非、一度、日産自動車九州工場に見学いらしてください。情熱を懸けるクルマづくりに、きっと感動していただけたと思います。



## 北九州地域のモノづくり企業の主力商品紹介



## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

## ■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信Vol.18広告3-4



当社は、人生にやさしい福祉・医療器具の総合メーカーです！  
障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供をします。

代表取締役 有蘭 央

〒805-8538北九州市八幡東区東田1-7-5

TEL:(093) 661-1010 FAX:(093) 661-1670

URL <http://www.arizono.co.jp/top/>



## 2度減システム

地球高温化対策、CO2削減を目的として壁面緑化「2度減システム」を推進します！

CASLE CO., Ltd.

代表取締役

渡邊 健司

Kenji Watanabe

カースル株式会社

URL <http://www.casle.co.jp>



〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212

## 新春随想



平成24年の新春随想 福岡県 商工部 新産業・技術振興課 課長 田代 裕靖

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

NPO法人北九州テクノサポートにおかれましては、平素から本県産業の振興にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、未曾有の被害に見舞われた東日本大震災、欧州の財政・金融危機を背景とする世界経済の減速や超円高による輸出の低迷など、日本経済や企業経営にとって非常に厳しい年となりました。改めて被災地の皆様には、1日も早い復興をお祈り申し上げる次第です。この逆境の中で再認識されたのは、日本の強みであり、我が国の成長を支えた「ものづくり技術」の重要性であったと思います。難局を乗り切るためには、ものづくりの技術や技能の優位性を活かして、新たな製品やサービスを開発し、世界市場を創造、開拓していく必要があります。北九州テクノサポートの皆様には、「ものづくりの支援」を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」という理念のもと、製造業の集積を大きな強みとして、技術開発、産学官連携などの支援を引き続き行っていただきますことをご期待申し上げます。

国が策定した「新成長戦略～『元気な日本』復活のシナリオ」では、「グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー大国戦略」、「アジア経済戦略」が成長分野に位置づけられています。北九州におけるエコタウン、環境モデル都市など環境分野における先駆的な取り組みと実績、成長するアジア市場への地理的優位性を大いに活かすことで、我が国のグリーン・イノベーションを先導することが可能です。県では、北九州市としっかり連携して、アジアの活力を取り込み、アジアとともに成長することを目指してまいります。今後とも皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

今年は、辰年。「漢書 律曆志」では「動いて伸びる」という意味があるそうです。皆様にとりまして、本年が大きく成長する年になりますよう心からお祈りいたします。

## 新春放談 北九州の新年を語る

### 九州工業大学

### 学長 松永守央



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、大災害、経済危機、超円高、政治的混乱など、歴史に残る厳しい年となりました。瓦礫の山、原子力発電所の事故処理と除染など、大震災の爪痕が残る新年を迎えましたが、国民が一丸となって東北地方の復興と日本経済の再興の年になることを信じています。

百年前にシュンペーターが提唱したイノベーションという言葉が良く使われます。経済が活気を取り戻すには、日本が得意の分野を礎にして事業の世界展開を進めるべきです。北九州が進めている水ビジネスや環境・省エネ関連事業のアジア展開は、蓄積してきた技術を活用した優れた事例です。ユーロ危機などの困難な局面では、アジアこそが世界経済の牽引となりますので、地理的優位性を活かして地場企業が海外事業を展開する支援強化が急務です。

グローバル化の影響は大学も例外ではありません。教育と研究の両面での対応が急がれます。九州工業大学では留学生増だけでなく、文部科学省が支援する海外派遣事業などを含めて約150名の学生を海外に派遣し、さらに毎年数十名の大学院生の国際学会発表を支援しています。まずは学生の意識改革を進め、若者が積極的に海外に飛び出す雰囲気醸成を目指しています。研究面でも国外企業との共同研究等が急速に増えつつあり、安全に研究を進めるために、全国トップの安全保障貿易管理体制を整備しています。

アジア展開によるイノベーションの要は、産学官連携と分野融合です。垂直統合ではなく、水平連携による技術革新とニュービジネス創出が容易な地域となるため、異分野・異業種の人々がフランクに議論できる場としての大学を目指しますので御協力をお願いします。

### 北九州市立大学

### 副学長 梶原 昭博



本年が皆様にとって希望の未来に続く年になりますようにお祈り申し上げます。

2011年は未曾有の東日本大震災そして福島原発事故と日本人の心に大きな衝撃と傷跡を残した1年であり、多くの町や市では今なお復興の目途さえ立っていません。被災された方には心よりお見舞い申し上げます。この1年を振り返ると東日本大震災やタイ洪水など「想定外」で片づけるわけにはいかない様々な問題に

気付かされました。終戦からこれまで長い間経済的繁栄を続け、日本人の心にもこれまで耳にしていた「100年に一度」という言葉は「めったに起こらない」とか「ほとんど起こらない」という思考に変遷していったように思います。改めて過去の経験に基づく判断ではなく大局の歴史観を持ち、例えば災害に対しては「めったに起こらない」ではなく「起こった場合には」という基本的な思考に立ち戻りたいと感じています。

さて北九州市立大学では本年3月に国際環境工学部の開設10周年を記念して「環境技術研究所」を設置する予定です。これまで環境問題解決のために環境・エネルギーや情報分野において研究開発に従事してきました。しかし東日本大震災や福島原発事故、そして先が見えない放射能漏れ問題などによって多くの人々の生命や健康、財産を一瞬に奪う災害や事故は究極の環境問題であり、本学の英知を結集して解決すべき緊急の課題であるとの認識のもとで本研究所に常設の「災害対策技術研究センター」を設置します。ここでは中核となる国際環境工学部全学科の教員が学科横断的に結集し、災害対策や復興対策に関する技術開発を行います。またこれまでの研究分野や産業支援についてもさらに推進していくために「産業技術研究センター」を併設し、引き続き地元の産業発展に向けて取り組んで参りたいと願っていますので皆様のご協力とご支援を宜しくお祈り申し上げます。

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

### ■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>  
NPO-KTS通信Vol.18広告5-6



### 株式会社 神垣組

神垣組(かみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。

URL <http://www.kamigakigumi.co.jp/>

代表取締役 神垣 三次

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10

TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070

### (株)加来野製作所

新製品 世界初  
低温減圧振動除湿式木材乾燥機



国際特許出願中

### 各種新製品紹介

小型万能乾燥機  
オガ粉製造機  
バーク粉碎成形機  
木資源リサイクル製品  
リサイクル製造プラント

<http://www.kakuno-seisakusyo.com/>

(株)加来野製作所 福岡県豊前市大字宇島76-19

TEL:0979-82-3888 FAX:0979-82-1509



## Topics.2 福岡ものづくりアドバイザーを活用して、技術力・業績アップ！

ものづくりアドバイザーを活用して、技術力アップ！ 業績アップ！！

福岡ものづくり産業振興会議 事務局長 八谷 正範



皆さんこんにちは。

私の本籍は、福岡県機械金属工業連合会で、事務方を担当しておりますが、傍ら「福岡ものづくり産業振興会議」の事務局長を仰せつかっておりまして、ほんのささやかながらも、ものづくりの担い手である中小企業の皆様の手助けをさせていただいております。今回、NPO法人北九州テクノサポート様の機関紙に寄稿する機会をいただきましたので、簡単に私どもの事業のひとつをご紹介します。

### ○福岡ものづくりアドバイザー事業について

高度の技術・技能を有し、実技指導等の経験のある方を「福岡ものづくりアドバイザー」として企業の現場に派遣して、技術・技能に関する課題解決の手助けを行っております。年間約10社に延べ40回前後のアドバイザー派遣を行っておりますが、今までの実績としては、

- ・機械製造業の企業に対して、専門的知識を活用した新製品の開発支援
- ・プラスチック製造業の企業に対して、省エネ診断及び省エネに向けた設備、工程等改善指導
- ・非鉄金属製造業の企業に対して、5S改善指導

などがあります。最近では、現在のものづくり産業を取り巻く厳しい環境を反映してか、新製品の開発に向けての技術指導が多くなってまいりました。

県内のものづくり中小企業からの指導依頼を受けましたら、当会議が抱えるアドバイザーの中から適任者を選定してご紹介いたします。アドバイザーは申請企業と打ち合わせの上、具体的な指導に入ります。

この事業は企業の経費負担がないことが最大の特長で、活用された企業から総じて高い評価をいただいております。技術力アップ、業績アップに繋がりますので、積極的にご活用ください。

アドバイザーは現在13名抱えておりますが、そのうち10名が北九州テクノサポートの会員の方で、毎年精力的にご活躍いただいております。アドバイザーにつきましては当会議のホームページに掲載しておりますので、そちらをご参照願います。

### ○連絡先(福岡ものづくり産業振興会議事務局)

電話 092-612-5177 メールアドレス [info@fukukiren-monodzukuri.jp](mailto:info@fukukiren-monodzukuri.jp)

ホームページ <http://www.fukukiren-monodzukuri.jp>

御用の向きは、気軽に、ご連絡、ご相談ください。お待ちしております。

## エコアクション21地域事務局福岡の活動状況

エコアクション21地域事務局福岡 事務局長 藤原成種

### ■平成23年度の特記すべき事項は、次の通りです。

- (1)北九州市の実践講座及び福岡県の集合コンサルティングを昨年度に引き続き同時に実施しています。従来は年2回でしたが、今年度は4回実施することとし、事業者の受講の機会をふやしました。40社近い事業者が受講しています。
- (2)このほか、幼稚園・保育園の先生を対象に「エコな先生講座」を実施しています。これは幼児向け「環境しつけ」を幼稚園、保育園で実践できる方法を学ぶものであります。併せてエコアクション21の取組みも学べる内容となっております。23園の保育士さんが受講しています。
- (3)エコアクション21業種別ガイドライン2011年版が制定されました。新ガイドラインを事業者に対し説明会を開催するとともに、審査の過程で取組みの円滑化・定着化を図っています。
- (4)今年度から北九州市長感謝状付与制度が発足しました。エコアクション21認証・登録事業者の中で、他の事業所の模範となる優良な環境経営を実践している市内の事業者を「環境にやさしい事業所」として市から感謝状を授与し、その取組内容等をHP等に掲載することにより、市民や他の事業者に対して広く紹介する制度であります。初年度は、(株)春日工作所及び(株)ジェイ・ライツの2社が受賞事業者となりました。

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

### ■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>  
NPO-KTS通信Vol.18広告7-8

株式会社 **メタルテック**

金属製品・外装パネル・ルーバー  
光触媒工事・親水・防汚機能外装工事  
福祉施設・病院工事・防菌手摺工事・防カビ工事

光が当たらなくても、親水性発揮!!

メタルウエットパネル  
Metal Wet Panel

雨が降るだけで汚れが落ちる  
金属製防汚パネル

〒810-0012福岡市中央区白金1-9-3  
Tel:092-523-1513 Fax:093-523-1532 URL <http://www.metaltech.jp/>  
E-mail:metaltech@poplar.ocn.ne.jp

株式会社西井塗料産業  
NISHI PAINT INDUSTRY CO.,LTD. <http://www.nishii.co.jp/>

価値ある提案を通じて  
産業の発展と生活文化の向上に貢献

〒812-0007  
福岡市博多区東比恵3丁目4番6号

お問い合わせ 品質・相談はお気軽にお寄せください  
092-415-4518 [eigyuu-bu@nishii.co.jp](mailto:eigyuu-bu@nishii.co.jp)

# Topics.3 KPEC 「北九州地域産業人材育成フォーラム」を設立

## 産学連携で産業人材育成を！

### 「地域社会が一丸となって産業人材を育成する」

#### 地域システム創りを目指す！

経済のグローバル化の進展による経済環境の変化と国際競争が激化を背景に、製造業を中心とした企業の海外移転の動きが活発化する中で、生産年齢人口の減少や高齢化が進むものづくりのまち北九州市においても、産業基盤の維持・強化が重要な課題となっています。その解決のための方途の一つとして、特に地域の中堅・中小企業の経営力強化とイノベーション力向上のための産業人材の育成が強く求められています。

しかしながら、地元大学の卒業生の地元就職率の低迷や中堅・中小製造業における研究開発人材の不足、さらには地元大学の研究開発機能や中核人材育成機能が地域企業に有効に活用されていないという問題も一方にあります。

こうした課題を解決し、競争力ある企業、成長力ある産業を育て、活力ある地域環境を構築していくためには、ものづくりのまち北九州のポテンシャルである大学と企業の集積を生かし、中長期的な視点を持って「産業人材の育成と活用」を推進することが何よりも必要です。

そこで、北九州市の成長産業振興政策とも連動しながら、地域の中堅・中小企業を対象にした産業人材育成のための地域システムを構築することを目的に、「北九州地域産業人材育成フォーラム」が設立（平成23年4月）されました。



計画説明会議風景

H23.3.23



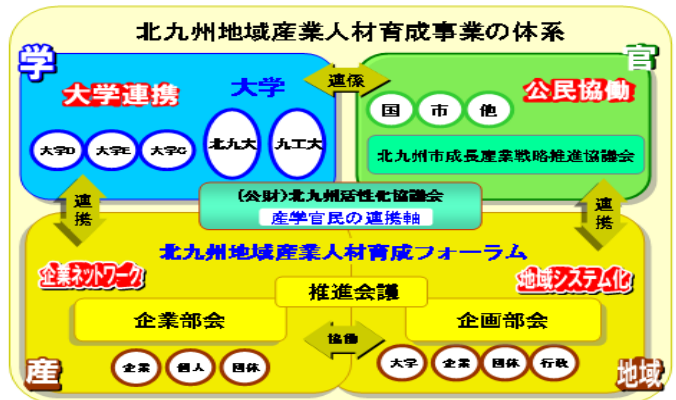
産業人材育成フォーラム推進会議

フォーラムは、地域の大学の学生・留学生の社会人基礎力の養成事業、就業者のスキルアップのための社会人プログラムの開発と事業化、さらには青少年の理数教育支援等、産学官の連携・協働による産業人材育成事業を多面的に企画・実施し、北九州の産業人材の育成を総合的に行う地域プラットフォームづくりを進めます。

平成23年度(初年度)に、最初の事業として実施した「長期インターンシップ事業」には、地元の中堅・中小企業33社(エントリー45社)と九州工業大学と北九州市立大学(国際環境工学部)の大学生59人(留学生を含む)が参加し、新しい取り組みへの期待の大きさを窺わせました。事業の実施に当たっては、対象企業の選定や学生と企業のマッチング等、北九州テクノサポートの知見とノウハウが遺憾なく発揮されました。

今後、フォーラムは、共に北九州地域の将来の産業基盤を支えていく志ある企業を「企業部会」として組織化し、産業界のニーズを踏まえた事業の地域化を促進するとともに、地域の中堅・中小企業のブランディングを実施し、高度人材の地域への誘導・定着を図っていきます。

■公益財団法人 北九州活性化協議会 専務理事 山崎 脩



## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。



代表取締役社長 松島 徹  
株式会社 松島機械研究所



本社 北九州市八幡西区大字則松461 〒807-0831  
■TEL 093-691-3731 ■FAX 093-691-3735  
■<http://www.matusima.co.jp>

■完全国産化した、パルスレーダー式マイクロ波レベル計

## NPO-KTS展示ブース開設

### NPO法人 北九州テクノサポート 展示ブース会開設

本年度も昨年に引き続き、主催者である(財)西日本産業貿易コンベンション協会様のご好意により平成23年10月12日～14日の3日間実施されました「中小企業テクノフェアin九州2011」において、「北九州テクノサポート展示ブース」を開設する事が出来KTS会員一同感謝しております。



出展の目的は、北九州テクノサポートの知名度向上と同協会から委託された「中小企業ビジネスマッチング事業」を受託したことにあります。展示物は、KTSの概要を理解していただくパネルが主体で、過去の実績や会員の出身企業・所持資格、トピックスとして金属プレス成形金型研究会の「ものづくり連携大賞受賞」と「環境配慮型製品のビジネス支援」活動など合計9枚を展示しました。



限りある資源を未来に 地球環境に貢献  
株式会社コーセイジャパン

### LCC(ライフサイクルコスト)の優れた省エネ！

当社は省エネ型電子安定器の開発メーカーです。照明の明るさを落さず35%～50%の省エネが可能な商品を取り揃えております。低コストで長寿命(3年保証付)の安心省エネ！



蛍光灯の省エネにネオルックSP



ハロゲン省エネにLEDビームランプ

またハロゲン代替用LED電球も販売開始しました。  
〒800-0313 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9  
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141 <http://www.2e.biglobe.ne.jp/~neolux>

北九州市八幡東区西本町1-1-1  
TEL.093-671-1131  
<http://www.chigusa.co.jp>



# 中小企業が期待するKTSの支援活動紹介

## ■産学連携支援活動

Gr長 影山 隆雄

### (1) 北九州地域産業人材育成支援事業

競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して、北九州地域が持続的な発展を続けていくため、大学界と産業界、教育分野と地域社会が、互いに支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図り、地域活力の向上を促していく好循環の創出を支援する。今年度前半は、「長期インターンシップ事業」のコーディネータとして対象企業選定、企業と学生のマッチングを行った(北九州産業人材育成フォーラム委託事業)。後半は、九州工業大学大学院工学府の「社会人プログラム」への企業ニーズを大学と協力して調査に取り組んでいる(九州工業大学委託事業)。



### (2) 福岡ものづくりアドバイザー事業

この事業の登録アドバイザー13名のうち10名がKTSの会員であり、県内ものづくり企業の基盤技術・技能分野で指導経験のある人が課題解決の支援をしている(福岡ものづくり産業振興会議事業)。

### (3) 知的所有権活用促進事業

本事業は北九州周辺にある企業の有望シーズの発掘や企業ニーズを調査することで、知的所有権の流通を促進するために行っている(北九州知的所有権センター委託事業)。

## ■ビジネスマッチング支援活動

Gr長 藤原 利久

NPO法人北九州テクノサポート(以下KTS)が中小企業テクノフェアin九州におけるビジネスマッチング支援事業は3年連続となる。(財)西日本産業貿易コンベンション協会(以下協会)の全面的なご支援を戴き、2009年の試験受託からスタートし、その実績を踏まえ、2010年は協会の(独)中小企業基盤整備機構の「平成22年度川上・川下ネットワーク構築事業」の支援事業を受託し大々的な活動をした。今年は20周年でもあり、2年間の実績を踏まえ、36社の展示企業に対し、川下企業訪問46社、延べ展示企業紹介228社、会場への来場36社・60人(訪問企業以外も含めるとこの1.5倍)、商談・面談(48件)の実績となった。昨年以上に手応えを感じていただいたようで、過去最も効率的な活動であった。但し、訪問企業に展示企業の紹介数0社が3展示企業、紹介数3社以下が9展示企業に至ったことは反省し、KTS内や外部との人脈づくり・ビジネスマッチング力を強化する必要がある。



## ■ISO/EA21支援活動

Gr長 小川 勝

### (1) 企業支援及び普及活動

- ①H社にISO9001認証取得のためのコンサルティングを実施。
- ②北九州市・福岡県とエコアクション21地域事務局福岡の共催によるエコアクション21導入セミナーが開催され講師及びカウンセラーを派遣した。
- ③北九州市・福岡県とエコアクション21地域事務局福岡の共催によるエコアクション21実践講座が第3期、第4期、第5期と開催され、それぞれにコンサルタントとして合計13回にわたって審査人を派遣した。

### (2) 研修会

- ①Grの相互研修会(23年度第2回)を11月12日(土)に開催。14名が参加し「事業者役に立つエコアクション21の審査はどうあるべきか」について研修した。
- ②福岡県エコアクション21審査人研修会(毎月第1火曜日17時~20時)Gr審査人が参加。
- ③エコアクション21中央事務局が主催する審査人全国大会(金沢市で11月4日~5日開催)にGr所属審査人8人が参加し研修した。

### 全国大会内容

1. 基調講演「低炭素社会の実現に向けて」金沢大学環境保全センター・鈴木教授講演内容:
  - ①地球温暖化の議論は今後どう進むのか、どこに向かうのか。
  - ②低炭素社会に向けた政策展開
  - ③地球温暖化問題における新たな論点
 まとめ:今後数10年を考えると、CO2対策だけでは気温上昇を許容限度に抑えることは不可能、短期的には即効性のある新たな対策が必要なることを強調された。
2. 4の分科会に分かれて討議し、最後に分科会リーダーがまとめを報告した。特に第2分科会では「審査の平準化」について討論。この問題はあっちこっちで発生していることがわかった。

## ■IT技術支援活動

Gr長 安東 静

中小企業等へのIT支援事業として、小倉北区の公的NPO法人のホームページを新規作成し、プロバイダーのサーバーにアップロードするまでの支援をしました。全てを含め5000円以下/ページの格安です。その他、Excelを活用した業務改善支援等もしていますので、当NPOのIT支援Grにご相談ください。

## 北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

## ■協力会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>  
NPO-KTS通信Vol.18広告12-15

GL PIPE JOINTS 好評です

## GASKETLESS管継手

■パッキンのいらない



新製品賞  
'99中小企業  
優秀新技術新製品賞

福岡県知事賞  
中小企業先端技術展  
福岡県知事賞

The Creative Corporation  
株式会社 大創

■北九州市八幡東区西本町4-5-1  
TEL:093-681-7195 / FAX:681-7196  
E-mail:pd-otsuji@daiso.biz  
URL <http://www.daiso.bz/>  
URL <http://www.daiso.bz/>  
口ご質問・お問い合わせは→専用FAX:093-681-7197

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で  
世界をリードする金型専門メーカー



## 株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田 5 4 2 - 3 8  
TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146  
本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町 1 2 - 6  
TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839  
E-mail : [info@uchidanet.co.jp](mailto:info@uchidanet.co.jp)  
URL : <http://www.uchidanet.co.jp>



## 微美 創造企業 MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我社は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みえの けいじ)  
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728  
E-mail:info@wks-co.com <http://www.wks-co.com>



ミーム  
(未夢)



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社  
北九州市八幡西区陣原1-8-3  
TEL:093(642)8231  
FAX:093(641)2010  
<http://www.keisokukensa.co.jp>

### 株式会社西井塗料産業

平成23年12月、小川理事が同社本社を訪問、西井社長からお話を伺いました。

#### ■会社の沿革と業況

当社は、昭和4年に久留米市で創業、以来福岡市、北九州市に進出。現在は福岡市に本社、久留米市と北九州市を支店とし、九州一円、関東以西に23か所の拠点を開設。塗料・接着剤・塗装全般をメイン事業とする。平成16年には本社に国内最大級のショールーム「ペインティングギャラリー」を開設し、工業用・建築汎用・一般個人用までフルラインの製品（塗料・塗装工具等）を展示。またカラーシミュレーション、カラーコンサルティング、セミナースペースもある。

#### ■今後の展開と課題

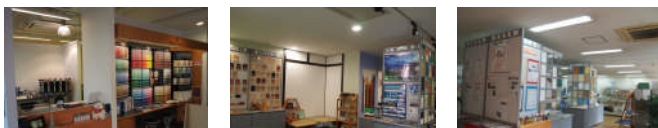
昨年には、アメリカの塗料著名ブランドのベンジャミン・ムーアペイントの日本国内での販売を開始した。東京青山と福岡のショップには同社の3500色、艶3色と組み合わせ、好みの色が5分で調合できる装置・システムを揃えている。特に乾燥が速く、30分程で十分で、臭気も非常に少ないため10時の改装開店に当日の朝からの施工で間に合うことから、大手ファミリーレストランチェーンのメンテナンス用としても採用されている。

また、スマホ対応のシミュレーションプログラムの専用アプリもある。例えば夕日の景色を写しその色をそのまま5分で再現調合出来るという、実際に街中の色で試してもらった。

当社は色の文化を提案するだけでなく、塗装の効果がより発揮できるように塗装技術・技能の高度化・教育を実践しているところが凄い。京都郡刈田町に塗装サポートセンター（不良対策、塗装機器選定、事前検討、塗装技術者養成、技能研修、設備機器教育）がある。定期的にスクールを開催し、出前教育も実践している。まさに、塗料と塗装のエンジニアリング企業・パートナー企業、そしてワンストップソリューションが得られる企業である。

今後は、更に色に拘って、また塗料の機能性と併せて生活空間を提案できる会社を目指すという。目線が完全に利用者のベースにある。成長が楽しみな会社である。

■KTSへの期待：今年度開発・販売を開始し、北九州市エコプロダクツ製品の認定を受けた可視光型光触媒塗料の販売支援を期待しています。既に、2011年の中小企業テクノフェアではマッチングをお世話いただきましたが、引き続き皆様の幅広い人脈による紹介をお願いいたします。



ベンジャミン・ムーアペイントの3500色サンプルとペインティングギャラリーの一部

#### ◇会社概要

- 本社：〒812-0007福岡市博多区東比恵3丁目4番6号 TEL:092-415-4518  
関東以西に支店・営業所・事業所等23か所に展開 FAX:092-415-4509
- 代表者：代表取締役社長 西井一史 ■設立：1947年12月
- 資本金：4,800万円 ■従業員数：277名
- 事業内容：塗料・接着剤全般、塗装機器・設備・メンテナンス、金属表面処理剤、色彩設計・施工、建材  
URL <http://www.nishii.co.jp>

### 株式会社メタルテック

平成23年12月、小川理事が同社本社を訪問、近藤社長からお話を伺いました。

#### ■会社の沿革と業況

当社は建築物の耐震性設計には欠かせない「エキスパンションジョイントカバーの販売・施工」をメインとしており、No1の施工技術を目指すとともに九州一円の販売拡大に積極的に取り組んでいる。

事業内容は大別して、金属事業と環境事業の2本柱で構成し、金属事業では、「エキスパンションジョイントカバー販売・施工」をメインとしながら一方高齢者社会に対応した手すりや景観に配慮したルーバー工事や、自社開発のバルコニー避難仕切枠“メタルボード”などの製造・販売・施工を展開している。

#### ■今後の展開と課題

環境事業では外装エコ技術として、「特許 メタルウェット処理システム」によるセルフクリーニング機能金属パネルの設計・生産・販売・取付施工等々新設工事と共に、既存建物外装に対する現場処理施工も行っている。更に今年度から西井塗料産業(株)との共同開発による低可視光活性光触媒特許技術を応用した高度抗菌性金属パネル及び内装パネル「スリースレットパネル」の開発をすすめており、該技術は画期的な高抗菌性能が注目され、病院・食品関連企業・施設等々潜在的に大きな需要が見込まれる。5年後には売上5000万円の達成を目指して突き進んでいる。

また、一方工場内や室内の照明の省エネ対応策として、日光を取込み、ダクトを通して反射板で増幅しながら室内照明として利用する全く電力を必要としないアナログ型の設備システムの販売・施工の展開を計画中である。以上の様に、今後共挑戦の事業展開を目指すところを頼もしく感じた。

■KTSへの期待：KTS会員の幅広い人脈から、当社の事業の紹介をいただきたい。特に新規商品の販売・施工先を紹介いただきたいと思っています。



紫外線型光触媒の塗装サンプル壁

#### ◇会社概要

- 本社：〒810-0012福岡市中央区白金1丁目3番3号  
TEL:092-523-1513 FAX:092-523-1532
- 代表者：代表取締役社長 近藤 豊 ■設立：平成4年4月
- 資本金：1,000万円 ■従業員：10名
- 事業内容：板金工事業、屋根工事業、建具工事業、エキスパンションジョイントカバー販売・施工、金属パネル、光触媒関連事業、塗装工事業等  
URL <http://www.metaltech.jp/>

#### ■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これから本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

#### ■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金：5,000円/年会費：5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金：10,000円  
年会費：20,000円/1口
- (個人)入会金：5,000円  
年会費：5,000円/1口

#### <事務局だより> “明けましておめでとうございます”

昨年は、3月の東日本大震災に際し、会員に呼びかけた結果、32名の会員の方から義援金19.5万円をご寄付いただきました。

お礼申し上げます！6月には、小川会長から影山会長に交代、理事も2名入れ替り、新体制で運営しています。また会員は数名の入れ替りがありました。総数75名で増減はありません。賛助会員は1社増えて10社となっております。なお事業では、4件の受託事業の他、「ものづくり支援」や「知財支援」、「中小企業支援」への人材登録を行いました。会の活動に関するお尋ねやご提案等が御座いましたら、ご遠慮無く御申し出下さい。今年も会員の皆様のご協力を頂きながら、産学官連携の要となるような活動を心掛けて参りたいと思います！



＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。  
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート  
会報「北九州テクノサポート通信Vol.18」

平成24年1月10日 印刷発行

●発行・編集：NPO法人北九州テクノサポート  
北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8F806号室  
TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:npo-kts@npo-kts.org